



人形編



三味線編



太夫編

発行 京都Re-Search実行委員会(京都府、京丹波町ほか)
制作 山成研究所

京丹波町和知といえば、京都の中腹にある町。粟や黒豆で有名な町という印象です。でも最近知ったのが、農家さんや町の人が親しんで今に伝えてきた芸能があるということ。その一つが「和知人形浄瑠璃」。一般的な人形浄瑠璃は三人で一人の人形を動かすらしいのですが、和知では人手が揃わなくてもできるように、一人ですべての人形を操る技芸が今に伝えられています。今から三百年くらい前から続けてこられた伝統文化。なぜこの町で長く受け継がれてきたのか。何か特別なワケがあるのか。ないか。



人形浄瑠璃は人形遣い、三味線、太夫(語り)の三者が一体となる総合芸術だと言われていますが、なぜ三味線が使われるようになったのでしょうか。中国から琉球へ、そして大阪(堺港)へ伝わり、日本独自の变化をした三味線。琵琶法師を源流として、浄瑠璃(物語)を語る義太夫三味線が生まれたのだそうです。語りの伴奏ではなく、「音一音で心を表現し、「間」をつくり、場面や天候、情景や登場人物の感情までも三味線で弾きわけられる。それは今まで見聞きしていた沖繩の三線や津軽三味線とはまた全然違うものでした。今号では和知の義太夫三味線について、見たり聞いたりしたことをまねっこしながら紐解いていこうと思います。「まねっこ、こころ」

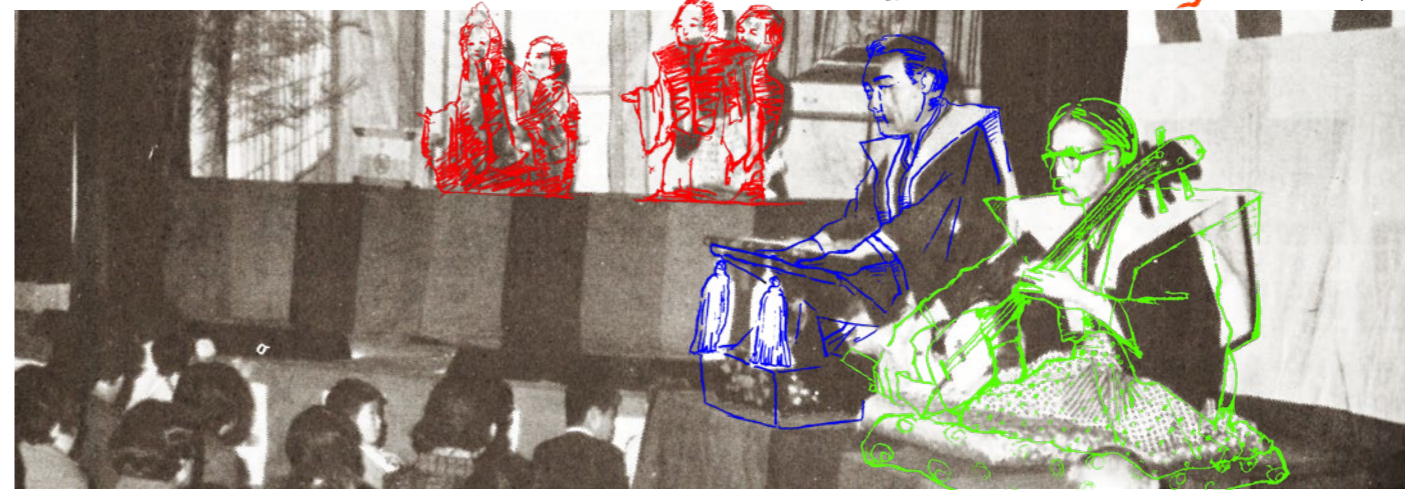
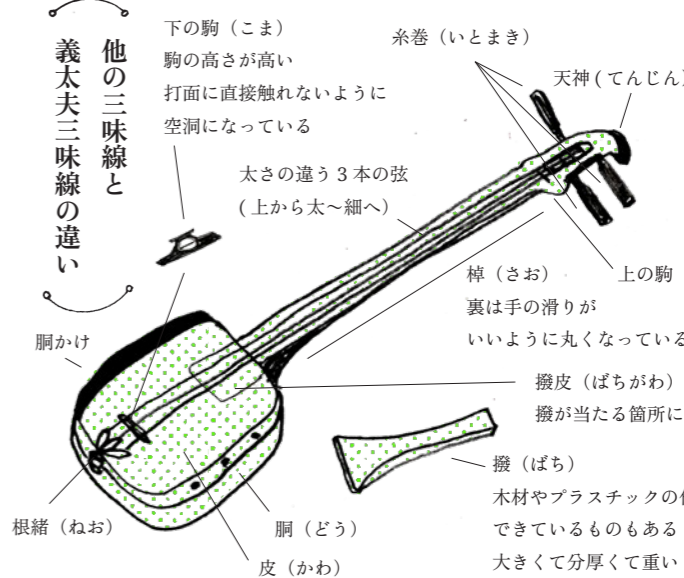


写真:「広報わち」昭和54年12月号より、京丹波町提供 画:中井梓太郎

義太夫三味線の特徴

太鼓(胴)と弦楽器の要素が合わさった楽器



●棹(さお)「太棹(ふとさお)」と呼ばれる三味線で、棹が太く、音が低く大きく響く。●撥(ばち)撥先が他の三味線の撥に比べて小さく、厚みがあって重くて大きいのが特徴。大きな音を鳴らせるようになっていて、弦を弾くのと同時に下の皮を叩いて音を出す。●駒(こま)●上の駒3本の弦のうち、一番太い糸は上の駒に乗せない。そのことで、弦が棹に直に触れて独特の響きを生み出し余韻が強く残るといふ(サワリがつくという)。●下の駒水牛の角でできていることが多いらしいが、中に鉛が入っているところも特徴がある。重さによって胴への響き方が変わり、音色が変わるのだぞ。

三味線



和知人形浄瑠璃会 芸名 和澤道之介 (わざわみちのすけ) 師匠に誘われて入門 象牙が使われている 犬の皮が使われている

三味線略図 サド爺の「えんたく」 ?弦なぜ黄色い 日本は江戸時代頃まで黄色い繭(まゆ)が多かった。そのため弦も黄色になったそう。その伝統の色を引き継ぎ、今では絹糸をウコンで着色して使用されている。楽譜は特になく、手書きでそれぞれ覚え書きをつくる。また、ドレミの音階ではない。勘所(かんどころ)という四十八のツボを押えて音色を変える。勘所は「いろは」で表されている。左記の三味線略図は和知人形浄瑠璃会の和澤道之介さんがつくられたものを参考にした。 沈んだ音「ウレ」 上品な音「ギン」 不気味な音「コワリ」など 表現方法があり同じツボでも 弾き方を変えることで様々な 表現ができる 表現(一例) 悲しい・泣く た びっくりした時 ぶ 開放弦(弦を押さない) い・・・③(細) ろ・・・②(中) は・・・①(太) 調子の合わせ方 【い】【ろ】【は】をピアノでいう 「ソ」「ド」「ソ」にあわせる ●①の【よ】と②の【ろ】を同じ高さにする ●②の【ね】と③の【い】を同じ高さにする

台所でまねっこ三味線づくり

まねっこ劇場

義太夫三味線を弾いてみたい!けど三味線って買うのも高いし、なかなか触れることができない・・・。そんな時に台所で生まれた「まねっこ三味線」。百円ショップや、ホームセンターで千円以内で材料を揃えて、まねっこ三味線をつくってみました。本当の三味線にならないが、ちよっくら仕組みを学びます。この通りにやらなくてもいいし、色々実験してオリジナルの「まねっこ三味線」をつくってみてね。

用意するもの カッティングボード 割り箸1本 木さじ(又は)しゃもじ 押しピン3本 糸3本(太さの違う糸) 今回は水糸を用意 極太 1.2mm/太 0.8mm/細 0.5mm はさみ ヒートン(6mm) 蝶ボルト(M4 10mm) 六角ナット(M4) クリップ 取手が出ている方がいす 色もいろいろ 百円ショップにいろいろのサイズのボルトがあるよ 完成

① 糸をボードの底にさす ② それぞれの太さの水糸を切り蝶ボルトに糸をくくる ※糸の長さはボードに合わせてゆとりを持って切つてね ③ ヒートンをボードの底にさす ④ 糸の太さが順になるよう並べる ⑤ 弦の固定 ⑥ 弦の位置を調整 ⑦ 駒をつくる ⑧ 仕上げ 三本の弦のうち、一の糸(極太)は駒の上に乗せない。 この部分を回すと糸がびーんと張り、音の高さも調整できる! ボルトを回しても横にぶつからない幅でヒートンをさしてね! ヒートンを回す 割り箸で弦を浮かせ ヒートンを回して糸をひっぱる

事業紹介

令和7年度地域プログラム(南丹) まねつこくらぶ伝統芸能 「まねっこ浄瑠璃」 アートの視点で京都府内の地域の魅力を発信する事業「地域プログラム」。今年度、南丹地域では、アートユニット山成研究所の二人の視点を通じて、京丹波町の人々が受け継いできた「和知人形浄瑠璃」の魅力に迫るリサーチ、ワークショップ、パフォーマンスを開催! 10/12 浄瑠璃 10/19 語り

「まねっこ浄瑠璃」今後の予定 <ワークショップ> それぞれの所作を、みて、きいて、まねっこしながら、体験! 9/28(日)まねっこ三味線 10/12(日)まねっこ人形 10/19(日)まねっこ語り <パフォーマンス> 10/25(土)まねっこ浄瑠璃大行列(観覧自由) 詳しくは、WEBサイト「KYOTOHOOP」をチェック!

新聞「まねっこくらぶ」 山成研究所の2人が和知人形浄瑠璃について調査。お話を聞いたことを皆さんにお伝えしていきます。併せて地域の方が大切にして人形たちをリサーチ! 和知人形浄瑠璃、そして人形と人との関わりかたに迫ります! 全3回発行。 WEBサイト「KYOTOHOOP」にて閲覧・ダウンロードできます。 亀岡市を拠点に、身の回りの小さなものごとについて、こどもやおとなたちと一緒に発見し考える場をつくる。辰巳雄基とうーから成るアートユニット。 山成研究所 やまなりけんきゅうしょ

和知人形浄瑠璃 江戸時代末期に大迫村(京丹波町大迫)で始まったとされる。おおほりな人形を一人で操る「一人遣い」は和知ならではの特色。京都府無形民俗文化財。和知人形浄瑠璃会が保存と継承に取り組んでおり、道の駅「和(なごみ)」の伝統芸能常設館で定期公演を行っている。随時、会員募集中。

上に乗ったりしている / 一緒に寝ることもある

足が小さくて歩けない



なまえ:ぐでたま / 1さい
去年の5月から6月にシママラからきた
性格:自身の上にいる
ソファの上によくいる
チャームポイント:顔

ペンがたくさん入っても
重くはならない

なまえ:ペンたま / 1さい
向日市の100円ショップからきた
性格:よく寝ている
特技:ペンが入る
チャームポイント:手が小さい



よくカバンの上にいる

なまえ:くま / 6さいぐらい
ほっきょく生まれ
性格:みんなと仲良くできること
チャームポイント:足の裏のお花が
綺麗でかわいい

赤いリボンは病院ごっこ
で包帯の代わりになる
寝る時はいつも座って
見られている



こっちの耳が聞こえない
時々聞こえる

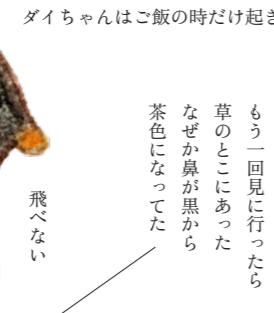
歩く時ぐねる
わーって走ったら
こける



日に日に増えて今は5人兄弟
2人(シロとクロ)はおじいちゃん家にプレゼントした

この前紙皿にいっぱいごはんをつかった

ダイちゃんはご飯の時だけ起きる

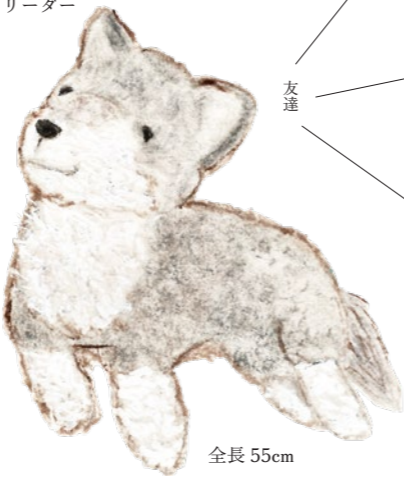


保育園の時
なくしちゃったけど
もう一回見に行ったら
草のところにあった
なぜか鼻が黒から
茶色になってた

友達

どこかに行く時はほとんど連れて行く

リーダー



全長55cm



一緒に寝たりする

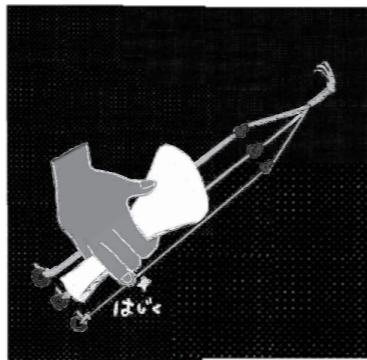
なまえ:あざらしこども
ほっきょく生まれ
特技:積み木のお地藏さんにお参りすること
チャームポイント:顔



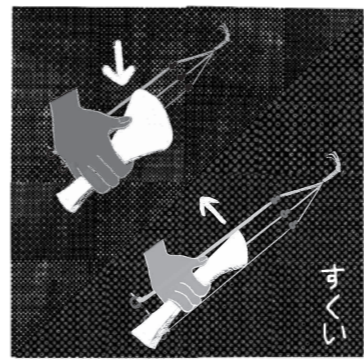
積み木のお地藏さん

積み木のお地藏さん

⑤ 強く驚くように弾く

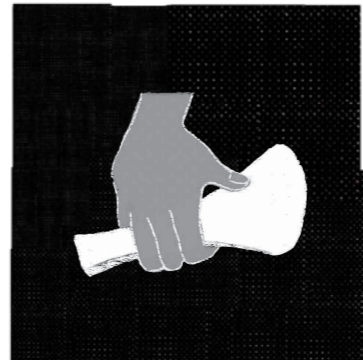


④ 薬指ではじく



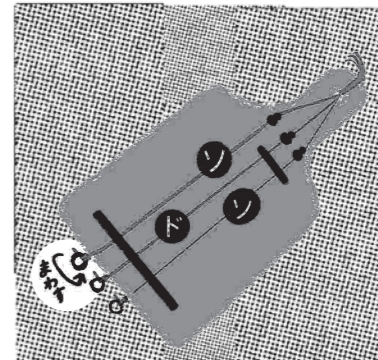
一本の弦

③ 上から下に弾く
下から上に弾く



小指をパチの後ろにまわし、薬指と挟む

② 右手でパチをもつ



携帯アプリでも音を合わせられるよ

① ソドソの音にあわせる



まねっこ劇場

まねっこ三味線弾き



和知人形浄瑠璃に加えて、地域の人たちが大切にしている人形のリサーチを行っています。
あなたの家にある人形について教えてください。(今年の9月30日まで受付中)
ぬいぐるみやフィギュア、手作りの人形など大きさやかたちは問いません。
出会いのきっかけ、今までどんなことがあったのかなど、あなたと人形の思い出や物語を教えてください。
詳しくは、WEBサイト「KYOTOHOOP」をご覧ください。

ちよっと黄色くなってきたけど
ほんまの色はおなかの色



なまえ:ゾウさん
福知山のガチャガチャで出会った / 3年以上いる
性格:優しい / 迷子の子を見つけたら車(おもちゃ)に乗せてあげる。車の中に乗って写真を撮るのが好き
友達がいっぱいいる / ブロックの家に住んでいる
いつも持ち歩いていて何回か落として行方不明になったことがあるけど帰ってきた
毎日一緒にお風呂に入り、頭はシャンプー
体はボディークリームで洗っている



お医者さん
病院ごっこで
人の健康を教えてください

なまえ:プーだる / 14さい
恐竜の時代生まれ
性格:かっこいい / しっぽで
他の恐竜をぶちまける
特技:縄跳び14回できる
チャームポイント:きば



顔が縦丸
一緒に寝たりする
顔が横丸

なまえ:しろ / 3さい
サンタさんから来た
チャームポイント:口
お母さんがつくってくれた首輪
好きな食べ物:いちご・みかん
ストープの上であたままでヒゲがくしゅつと丸まった



なまえ:かわちゃん / 4さい
ひめせんで出会った
特技:宙返り / 身体がやわらかい
チャームポイント:手足が伸びること

巣(箱)に
13匹のカワウソウがいる
この子は一番最初に家にきた

山成研究所
人形レポーター:やま吉
人形の絵:うー

インタビュー協力
*びばべ実験室
京丹波町・南丹市・亀岡市
など地域のこどもたち



ちまたではつけん
にんぎょういんたびゅー

